

官警衝突に因る 検束者十名 其内一名は起訴か

其後の藤永田造船所の争議

藤永田造船所の職工約三千名も、折られ又は帽子、厚巻、はき履の休業に九日断業住者等を暴した者も多数ある、前橋町の西方廣場に集合した所、同所でも西區警署工隊、ので職本部は直に全市の警、連三日市川伊之吉(三)外四、業に非常召集を行ひ約一千名、名検束されたが

住吉署に急行せしめ、大木警署官は市内各署長と共に、に同署に出動協談の結果、本、二番署官は現場に臨んで解散、を命じたが更に解散する氣配、を命じたので、検束を命じ小丘に、居合した職工を築たどて、後に、官隊と職工側は大格闘を初め、(三五)山田寛(二)四外二名検束され

これを取戻さんと住吉署に殺、斬し安島某が放逐方を渡し、たが許されず又も闘闘を初、りて

互疎を投じ窓明手を、葉葉に破壊し悪査の備、

検束者の内、二は大木監警署附の音柳警署に暴行を加へた爲め職務執行妨害として告訴せられるであらうと云ふ

警官四名は
重軽傷

大争闘の際警署中には四名の負傷者を出し中にも住吉署の深田刑事は列し打撲傷を受け居り、護服品として多数の被褥、其他を押収し職工側は四時頃に全部引扱げた

毎日常即せしむる方法をも講じ居れり

機械工の同情罷工協議

八日午後六時より共益社職工に於て職工組合の時時協談があり、女愛智智より西尾主庫、東尾智氏、機工大久、職工高石、仲編工、氏等來場して協談の結果、機工の最出に於ける同罷工の件に就き協談した

同情金寄贈 藤永田造船所職工に對し左の同情金ありたり

金五十圓 神戸東洋鐵工組合
金百圓 足田鐵工所職工有志

相澤造船
會社の新思想發表

職工の怠業
大阪市西區石田相澤造船所労働争議に關して會談員は入、日左の如き新規定を設けて發表した

一 工場主側の都合に依り職工を降雇する場合には左の割合を以て手當を支給す
六ヶ月未満の勤者には日給十日分を支給し六ヶ月以上滿一ヶ月未満は毎日に日給一日分を加算したる金額を以て最低とす

**職工側は結束を固めて
工場主に對抗**

昨夜幹部が會見して態度決定
多職工半日午前十時中之聲に集合す

藤永田造船労働争議は益々紛争中之高公園警察署附近へ全職、糾を重ねて住吉を引揚げて後、工集し團體を益々固し、二町は九條三軒家上の町、工場主側と衝突對抗して初志、の相集部へ集合し種々協談の相徹に専心努力すべく同俱、もあつたる積、十日午前十時、業に出動し住職し職工に